ここが変です！ 豊島区政　その８

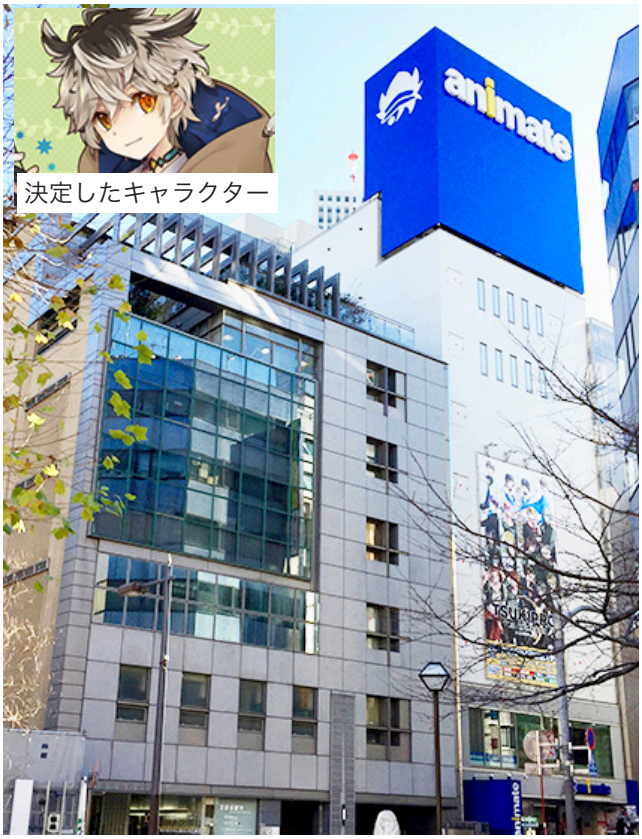
大企業のＣＭ制作に費用を折半

株式会社アニメイトに１９３０万円の税金投入

国際アート・カルチャー都市のまちづくりを進める豊島区は、アニメ・マンガ・ゲームの株式会社アニメイトと「池袋ＰＲアニメ」（約３分）を共同制作し、世界中のアニメファンをターゲットとして２０２０年に池袋を世界に発信する計画を進めています。

▼補正予算に計上された キャラクター公募費

昨年９月、一般会計補正予算の項目の中にマンガ・アニメを活用した観光事業としてキャラクター公募費４３０万円が計上されました。



決定したキャラクター

左は池袋保健所　右が 2012 年竣工のアニメイト池袋本店

キャラクターの使用目的の説明はありませんでした。

私の質疑によって「アニメイトとアニメＣＭを共同制作するためのキャラクターで、制作費３千万円は折半する」と答弁がありました。

▼アニメイトが 持ちかけてきたＣＭ制作

アニメイトは旧庁舎跡地周辺（ハレザ池袋）の開発に関わっています。自社30周年記念事業としてＣＭを企画したアニメイトが、豊島区に共同制作を持ちかけてきたことも明らかになりました。豊島区は税金を預かる立場として断るべきです。快諾するなどあるまじき行為です。

▼区長と大企業による なれあい政治

決定したキャラクターは他区からの応募者のものです。

自治体のＣＭであれば区民や子どもたちに限定して公募すべきです。費用を税金で賄うのであれば一般競争入札し、より良いものをより安く調達しなければなりません。

ＣＭにアニメイトの映像が流れます。こうした事業のキャラクター公募費に全額を負担し、制作費を折半して１９３０万円を出すなどあってはなりません。これは公民連携に名を借りた大企業との「なれあい政治」です。

私はこの間、あらゆる機会において繰り返し「自治体の本分を逸脱した行為だ」と批判し撤回を求め続けました。

しかし区長は日本共産党以外の全議員賛成を盾に「費用を出すことは大変意義がある」と繰り返すばかりです。

▼税金の使い方を変えれば

左の施策は私がめざす教育分野・子育て支援の一例です。ＣＭの費用を振り向ければ全て実現できます。

＜私がめざす子育て支援の費用＞

◆小中学校給食を第３子以降は無料にするために必要な費用　４４０万円

◆小学校入学支度金を入学前支給に変更するシステム改修費　５００万円

◆就学援助認定を生活保護基準１．２倍から１．２５倍にするために必要な費用　２８０万円

◆同じく１．３倍の費用　５６３万円

日本共産党　区議会議員

森　とおる

区役所控室　3981-1429

自　　宅　6912-0135

2018 年　6 月　5 日発行